

GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 268

2019/05/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

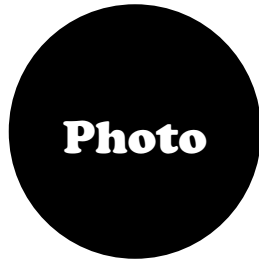
GREEN COLUMN

01. 抽象画表現

02. なぜ絵を描く？



今月の一枚



「ぜひ、お立ち寄りを！」

表紙写真・文／久保田結衣

特別展示室では、岸本裕躬作品の生涯に渡る作品を展示しています。

長さが 162cm 以上もある 100 号以上の大作もずらりと…。

とりわけ、晩年に描かれた自然を描いた作品は、迫力を持って皆さんに語りかけてくることでしょう。

Event. 今月のイベント

企画展「絵を描く心～岸本裕躬作品より」～10月20日（日）

ロビー展「お宝見せます」～5月14日（火）

無料開館「こどもの日」5月5日（日）

プチ工房「光るチューブブレスレット」5月15日（水）、17日（金）

博物館講座（芸術編）「心が育てる絵画の魅力」5月18日（土）

Information. 参加者募集

無料開館「こどもの日」

●5/5(日) 9:30 - 17:00 かしわ餅の無料配布(先着 500 名), 昔なつかしいせんべい焼き体験(14:00 まで), こいのぼり作り(14:00 まで) ●美幌博物館 ●無料(常設展示室も無料でご覧いただけます)

●美幌博物館 職員 ●申込み不要

プチ工房「光るチューブブレスレット」

●5/15(水), 17(金) 10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費(300 円) ●八重柏誠(美幌博物館) ●申込み不要。小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館講座（芸術編）「心を育てる絵画の魅力」

【講演会】●5/18(土) 10:00 - 11:30 ●博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●渡辺貞之氏(深川市アートホール 東洲館) ●申込み不要。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要。

今月の休館日

7 日, 13 日
20 日, 27 日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

抽象画 表現

文／久保田結衣・絵／岸本裕躬



ただ今、特別展示室にて「絵を描く心～岸本裕躬作品より」を開催しています。展示室入って左には初期に制作された抽象画（前期では《瞑目》1969年・画像）が展示されています。

抽象画とは、物事を実際の色・形にとらわれず、自由な発想で描かれた作品のことを呼びます。美術鑑賞の中でも、特に「見方が難しい！」というイメージが強いかもしれません。

抽象画の歴史はまだ浅く、ワシリー・カンディンスキー（1866-1944）が先駆者とされています。それまでの洋画美術は、印象派やキュビズムといった様々な表現技法は生まれていても、物を描くこと（ミメシス・模倣）が前提でした。しかし、カンディンスキーは「色彩は精神を表す」と考え、物の形にとらわれずに、色彩と単純化させた丸や線の表現を追求しました。岸本

の初期の表現は、自身あるいは社会に渦巻く欲や思想といった形のないものを、意図的に「形」と「色」に置き換え、表現されています。

とはいうものの、抽象画は画家と作品の一対一の対話の意味合いが強く、鑑賞者にとっては「？」とを感じるのも事実です。芸術鑑賞全体に通じることですが、作者の意図にとらわれず、直感的に観て構いません。いたってシンプルに「この色と形、何かいいなあ」や「この色と形は何だろう？」と自身に問いながら、芸術鑑賞を楽しんでいただければ幸いです。

02 GREEN COLUMN

グリーンコラム

なぜ 絵を描く？

文／鬼丸和幸・写真／渡辺貞之



3月23日より、企画展「絵を描く心～岸本裕躬作品より」がスタートしました。美幌町にゆかりのある画家 岸本裕躬氏の作品23点について、前期と後期に分けて展示します。

今回の展示にあたり、画家でもあり、深川市アートホール東洲館館長の渡辺貞之さんには、大変お世話になりました。渡辺さんは、岸本裕躬さんと古くから親交が深かったこともあり、度々深川をお訪ねしては、岸本さんの作品の特徴をはじめ、絵を描く意味、美術教育のあり方など、とてもユニークなお話を聞かせていただきました。

…「これでいい」「自分の思いが、全部表現できた」という作品は、まだない。現状に満足せず、あれこれ悩み努力するから、いい作品が生まれる。

…何もアピール（主張）したいことがない絵は、つまらない。人が見て「おかしい」と思えることでも、「こう

いう理由で描きました」と言える絵が本物。

…子供は、自分が持つ価値観や思い込みで絵を書くもの。「あの木と同じ形に描きなさい」「同じ色にきなさい」と指導するのはナンセンス。

…子供に興味はないものを、「描け」と言っても無理。教諭は、子供が何に興味があるのかを、しっかり見極めていなければならない。

企画展を記念して、5月18日（土）の博物館講座（芸術編）では、渡辺さんを講師に「心を育てる絵画の魅力」というテーマで講演していただきます。「私が絵を描く理由」「絵は子どもの感性を磨く」「これでいいのか？美術教育」…など、辛口でユーモアあふれるお話を聞くことができます。一般のみなさま、教育関係のみなさまなど、多くの方々のご参加お待ちしております。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・八重柏誠

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



便秘は禁物です。家族の一員（女性2人）が、1週間たまった石のような⑤を続けざまに排出した後、トイレが詰まり、市販の器具を用いても解決できず、業者を呼ぶ羽目となりました。運が悪かったのか、それとも運がたまって良かったのか…？（鬼丸）